

**「どちらがひろい」  
(広さくらべ)**

本単元で育成する資質・能力

根拠をもとにした思考・判断・表現力

**1 単元について****【単元観】**

本単元は、小学校学習指導要領算数編、第1学年〔B 量と測定〕のうち、(1)ア「長さ、面積、体積を直接比べること。」、イ「身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比べること。」を受けて設定した。第1学年では、普遍単位を用いた測定の前段階において、「日常で用いられている長さ、面積、体積という『量』の意味や、『はかる』ということの意味を理解する上で基礎となる経験をさせる」というねらいが設定されている。その中で、2学期に、長さ、体積の学習を行ってきた。

本単元では、身の回りにあるものの面積を直接重ねて比べる算数活動を通して面積に関心をもち、2次元的な広がりを意識するとともに、面積も単位とするものを決めて、その「いくつ分」というように数値化して表したり、比べたりすることができることに気付くようになることをねらいとしている。

**【児童観】**

本学級の児童は、「長さ」や「かさ」の学習において、直接比較、間接比較、任意単位による測定を行い、測定の素地を養ってきている。体験的な活動が多い学習内容なので、意欲的に取り組む姿が多くみられた。直接比較では、違いの部分をはっきり視覚的に捉えることができるので、量の違いをはっきり知ることができた。しかし、任意単位の場合、いくつ分かで数値化する際、数え間違えて誤答につながる姿も見られる。日常生活の中で児童は、広さを体感したり、比較したりといった経験を行っている。その際、「広い」「狭い」という表現を使う姿が見られるが、それは、視覚的・感覚的にとらえているのみで、根拠となる比べ方を筋道立てて考えた上での表現ではない。具体物を使っての活動では楽しく行うことはできるが、そこで見つけた自分の考えを友達に伝えることに抵抗を感じている姿が見られる。また、一部の語彙力が豊富な児童の意見をそのまま使って自分の意見にしてしまう児童も見られる。しかし、友達の意見をしっかり聞いたり、友達の意見を取り入れようとしたりする姿は大いに見られる。

**【指導観】**

指導にあたっては、「長さ」や「かさ」の学習での比較の仕方を想起させながら、「広さ」を比べたり調べたりする場合でも似たような比べ方ができないか関連付けていく。直接比較をする際、「面積」では、2つの辺と1つの頂点をぴったり合わせて重ねるといった丁寧な操作活動を大切にしていきたい。任意単位を活用する比較場面では、タイルのような任意単位となるものが身の回りにもあることに気づかせるとともに、「どちらが、～のいくつ分広い」という面積比較の表し方も進んで活用していくように力をつけていきたい。操作したり、図や言葉を用いたりしながら比較の仕方を考え、整理させることを大切にしながら進めていく。その際、「はじめに」「次に」「さいごに」と順序を表す言葉を活用しながら思考の過程を説明させるようにしていく。ペアで説明し合い、友達の考えと比較したり、友達の意見を取り入れたりしながら、自分の考えを修正し、全体の場で自信をもって伝えることができるようにする。

面積の基礎的な概念を、興味を持って総合的に捉えることができるよう、他教科との関連を図るとともに、生活の中での「広さ比べ」の場面を取り上げ、比較するよさを味わわせるような課題設定を

する。そこから、関連付けて自分達の身の回りでの面積比較に活用したり、量の大きさの感覚を身に付けたりさせていきたいと考えている。

**【本単元における育成すべき資質・能力】**

**根拠をもとにした思考・判断・表現力**

資質・能力の育成にあたっては、これまで学習してきた長さや体積の測定の仕方や比べ方の既習事項と関連づけながら課題を解決しようとする力を育てる。また、自分の考えを操作活動や図や言葉を使って既習事項を生かしながら説明したり、友達の考えを聞いたりするペア活動による学び合いの場を仕組むことにより、聞く人が分かるように根拠をつけて説明する力を育成する。

**2 単元の目標**

面積の比較などの活動を通して、面積の概念や測定について理解の基礎となる経験や面積についての感覚を豊かにする。

**3 評価規準**

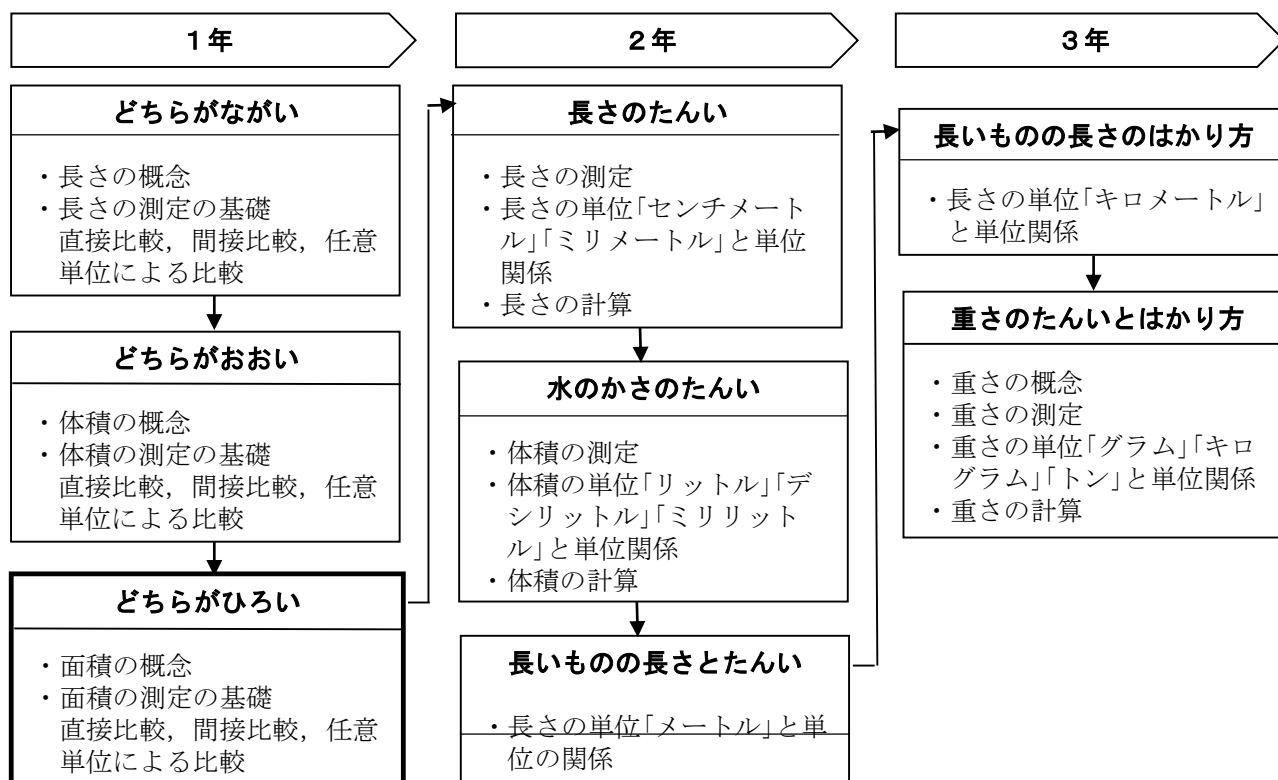
**(1) 算数科の単元について**

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
①身の回りにある広さに関心を持ち、その大きさを比べたり、わかりやすい方法で表そうとしたりしている。	①身の回りにあるものの広さについて間接的に比べたり、任意単位を用いてそのいくつかで数値化するなど、比べ方を考えたりすることができる。	①広さの大きさを、直接比較、間接比較、任意単位のいくつかで数値化する方法で、比べることができる。	①広さの量の意味について理解し、身の回りにある広さの大きさをとらえるなど、量の大きさについての豊かな感覚をもつことができることを理解する。

**(2) 本校でつきたい資質・能力とめざす児童の姿について**

資質・能力	めざす児童の姿	評価規準
根拠をもとにした思考・判断・表現力	他者の考えを取り入れ、自分の考えについて根拠をもとに表すことができる児童	①生活や体験を生かし、既習の学習と関連づけながら課題を解決しようとする。 ②自分の考えを図や言葉を使って説明したり、表現したりしようとする。

**4 単元の学習の系統性**



## 5 指導計画（全4時間）

### 【特別活動】

○「おたのしみかいをしよう」

- ・グループで、みんなで楽しめるゲームを考えたり、必要なものを作ったりする計画を立てる。
- ・「ふうせんはこびゲーム」に適するレジャーシートの広さや「じんとりゲーム」の勝敗の付け方を考えなければならないことから、学習の必要性に気づく。

（課題設定）

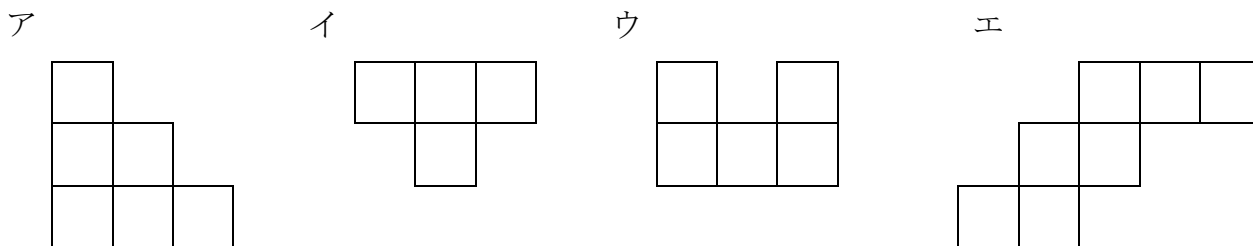
ましかくのかたちをつかって「いろいろならべゲーム」を しました。  
どのかたちが、いちばんひろいか、どのようにしてくらべたらいいでしょうか。

時	主な学習活動		評価の観点				
			関	考	技	知	主な評価規準
1	課題の設定	情報の収集	○			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積に関心をもち、面積の比較の仕方を考えようとしている。</li> <li>・直感で判断した結果と、直接比較した結果を比べることができる。</li> <li>① 生活や体験を生かし、既習の学習とつなげながら課題を解決しようとする。</li> </ul>
2	情報の収集	整理・分析		◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積を直接比較や間接比較で比べることができる。</li> </ul>
3	情報の収集	整理・分析			◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積を任意単位のいくつかの大きさとしてとらえ、数で表現することができる。</li> </ul>
4	まとめ・創造・表現	振り返り		◎		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を活用して問題解き、学習内容の定着を振り返ることができる。</li> <li>②自分の考えを図や言葉を使って説明したり、表現したりしようとする。</li> </ul>

## 6 パフォーマンス課題と評価指標

### (1) パフォーマンス課題

ましかくのかたちをつかって 「いろいろならべゲーム」を しました。  
つぎのア～エのかたちを、ひろい じゅんばんに、ならべかえましょう。



ひろい ( ) → ( ) → ( ) → ( ) せまい

### (2) 評価基準

	A	B	C
評価基準	いくつか数値化しながら広さを調べ、説明を加えて求めている。	いくつか数値化しながら広さを調べ、広いじゅんばんに答えている。	何を求めてよいのか情報を整理できず、見た目で答えている。 または、数え間違えたまま、広さ比べをしている。
表現事例	はじめにいろいろのかずをかぞえます。 アは6こぶん イは4こぶん ウは5こぶん エは7こぶん です。 さいごに、ひろいじゅんにならべると、エ→ア→ウ→イ です。	ア 6こ イ 4こ ウ 5こ エ 7こ  (こたえ) エ→ア→ウ→イ	(こたえ) ア→エ→ウ→イ 等

## 7 本時の展開

情報の収集

整理・分析

### (1) 本時の目標

- 1回で直接比較できない場合、はみ出た部分を直接比較したり、間接比較をしたりして面積を比べることができる。

### (2) 評価規準

- 直接比較を繰り返したり、間接比較したりして面積を比較し、比べ方を説明することができる。

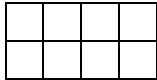
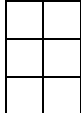
【数学的な考え方】

### (3) 準備物

ノート、広さの異なる2種類の紙、はさみ、算数ブロック、教材提示装置

(4) 学習の展開

深める	学習活動 (○), 児童の反応 (・)	指導上の留意点◇ ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
・ 広くなる	<p><b>1 問題文を把握し, 課題を発見する。</b></p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 30px;"></div> </div> <p>◇問題文を読み, 問われていることを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おしらせコーナーのひろさをくらべればいいんだね。</li> <li>・レジャーシートのはきはみは, かさねてくらべられたけれど, かべにとりつけたおしらせコーナーはかさねられないよ。</li> <li>・ましかくとながしかくでは, くらべられない。</li> </ul>	<p>グループごとに, おしらせコーナーにあそびかたのせつめいをたくさん, はろうと思います。</p> <p>どちらのおしらせコーナーがひろいでしょうか。くらべかたをおしえあおう。</p> <p>◇問題文を読み, 形の比較から前時との違いを確かめる。</p> <p>◇実際に重ねて比較することで, どちらの形にもはみ出す部分があることに気づかせる。</p>	
	<p><b>2 本時のめあてを確認する。</b></p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>かさねあわせたとき はみ出すぶぶんがあるひろさの くらべかたを みつけ, おしえあおう。</p> </div> <p><b>3 調べ方の見通しを持たせる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かさねて, はみ出たところをきってくらべる。</li> <li>・けしゴムをおいて, いくつぶんあるかかぞえてくらべる。</li> <li>・ノートの上においてマスをかぞえてくらべる。</li> <li>・さんすうブロックをおいて, かぞえてくらべる。</li> </ul>	<p>◇形が違って, 広さが同じ部分があることに気づかせ, はみ出た部分の広さをどう調べたらよいか, 方法を出させる。</p> <p>◇これまで学習した長さの比較の方法を想起させ, 直接比較以外にけしゴムや算数ブロック等を活用して比べることができることに気づかせる。</p>	
見通す			

<p>解決する</p>	<p><b>4 お知らせコーナーの広さを比較する。(個人→ペア)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はみ出たところをはさみできってくらべると・・・。</li> <li>・さんすうブロックをおくと、ぴったりおけたよ。</li> </ul> <p><b>5 調べた結果を交流する。(全体)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はみ出たところをかさねたら、ましかくのおしらせコーナーのほうがちょっとひろい。</li> <li>・さんすうブロックをおいたら、ましかくのおしらせコーナーは9こで、ながしかくのおしらせコーナーは8こだったから、ましかくのおしらせコーナーのほうがひろい。</li> <li>・けしゴムをおいたら、ずれてよくわからなくなった。</li> </ul>	<p>◇はみ出した部分をどのように広さを比べたのか、操作しながら考え方を言葉で説明することもおさえる。</p> <p>◆直接比較に戸惑っているようであれば、前時で学習した端をピッタリ揃えることを写真を見せて思い出させ、調べさせる。</p> <p>◇直接比較でも広さを調べることができるが、同じ形の任意単位を活用すると、調べやすいことに気づかせる。</p>	<p>&lt;評価&gt;</p> <p>重ねて切った部分を比較したり、任意単位を使ったりして面積を比較し比べ方を説明することができる。</p> <p>【数学的な考え方】</p> <p>(活動の様子、発表、ノート)</p>
<p>まとめるつなげる</p>	<p><b>6 広さのくらべ方をまとめる。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はみ出たところだけをかさねてくらべる。</li> <li>・さんすうブロックなどもとになるものをおいて、かぞえてくらべる。</li> </ul> </div> <p><b>7 適用問題を解く。</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p><b>8 本時の学習を振り返る。</b></p>	<p>◇同じ形の任意単位を活用して数え、広さを比べさせる。</p> <p>◇「分かったこと」「できるようになったこと」をペアで発表させる。</p>	

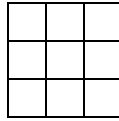
## 8 板書計画

○/△ ㊦

かさねあわせたとき はみ出すぶぶんがあるひろさの くらべかたを みつけ、おしえあおう。

㊧

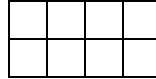
グループで、おしらせコーナーにあそびかたをたくさん、はろうと思います。  
どちらのおしらせコーナーがひろいでしょうか。くらべかたをおしえあおう。



こたえ  
ましかくの  
ほうが  
ひろい。

㊨

- ・はさみできたらいい
- ・けしゴムをおいたらできそう
- ・さんすうブロックがつかえそう



㊩

- ・はみ出たところだけ、かさねてくらべる。
- ・さんすうブロックをおいて、かぞえてくらべる。

◎授業風景